

- 1 日時： 令和元年10月16日（水）13時30分～
- 2 会場： 青森市柳川庁舎 2階 講堂
- 3 出席者： 廣森直子議長、内海隆委員、高橋隆子委員、滝口小百合委員、常田清彦委員、手塚理香子委員、蒔苗礼子委員
- 欠席者： 今別幸司委員、福士めぐみ委員
- 事務局 教育部長 工藤裕司、浪岡教育事務所長 長谷川敬
- 出席者：
- | | | |
|-------------------|---|------|
| 参事・文化学習活動推進課長事務取扱 | ： | 田中聡子 |
| 参事・文化財課長事務取扱 | ： | 葛西俊一 |
| 中央市民センター主幹 | ： | 穂元学 |
| 市民図書館長 | ： | 伊藤慶尚 |
| 指導課長 | ： | 須藤隆文 |
| 教育課主幹 | ： | 長谷川巨 |

4 次第

- (1) 開会
- (2) 議題 令和2年度社会教育関係団体に対する補助金の交付について（意見聴取）
令和元年度社会教育関係事業（教育委員会所管）の検証及び今後の取組方針（案）
について
- (3) その他
- (4) 閉会

5 主な質疑応答、意見等

《令和2年度社会教育関係団体に対する補助金の交付について（意見聴取）》

○浪岡地区公民館事業補助金

- ・浪岡地区の公民館事業は、このまま10%削減され続けると予算がなくなるのではという心配があったが、歯止めがかかったので安心している。

《令和元年度社会教育関係事業（教育委員会所管）の検証及び今後の取組方針（案）について》

○社会教育関係職員スキルアップ事業

- ・今年度で廃止を考えているようだが、研修会の参加者が少なくなっているのは公民館の職員が求めている内容と違うためではないか。各館の事業の紹介や成功例や失敗例などを、各公民館に情報発信すれば各館が困っていることが解決できるのではないかと思う。
- ・代わりに、「生涯学習推進員」が定期的に各市民センター、公民館の相談に答える等の支援をしていくよう進めていけばどうか。
- ・指定管理制度が導入されている中で、貸館業務と自主事業の比率や、自主事業について何をやっていくのかを、どのように指導していくかが重要になっていくと思う。

- ・事務局

市民センター職員同士の情報交換会や、生涯学習推進員の方々の知識やノウハウを活用して、現場の職員が欲しいテーマや横のつながりを考えながら進めていきたい。

○小学生職業体験講座開催事業

- ・単なるキャリア教育ではなく、地域の人と人がつながる「つどい、まなび、つながる」場となり、国連のSDGsのキーワード「質の高い教育をみんなに」のとおり、どんな家庭環境におかれていても全員にチャンスが与えられているとても良い事業であった。
- ・次年度、経済部が担うこととなった際にも、地域交流の場でもあった事業、人を育てる視点を持った事業であってほしい。

○学校施設開放事業

- ・空き状況の問合せが多いため、一括して空き状況が分かるシステムを構築できないか。

○放課後子ども教室推進事業

- ・推進員の人員配置の基準と、放課後児童クラブとの連携について聞きたい。

- ・事務局

登録人数が一桁の場合は1人だが、状況により増員している。土曜日実施の体験交流の場では、放課後児童クラブの子どもが参加したり、月に一度教員と互いのスタッフ同士3者が集まり情報共有している。

○成人式開催事業

- ・実行委員の確保に苦勞しているのであれば、メンバー集めのため、会議の開催時間の工夫のほか、地域の方々がお祝いする企画に変更してもよいのではないか。

○家庭教育支援事業

- ・講座内容の工夫というよりも、ニーズをいかに吸い上げるかということが必要だと思う。

○生涯学習支援事業

- ・ねぶた・北島まつり絵画コンクールの受賞作品展示会が浪岡であったが、北島まつりの受賞作品がなかった。
- ・講座に参加する青少年層が少ないということだが、今後どのようなことを考えているのか。

- ・事務局

北畠まつりの絵画出展が増えるよう、時期等について検討したい。

若い世代の参加がほとんどいないので、休日や夜間など参加しやすい時間帯も考慮して計画していきたい。

○宿泊体験学習事業

- ・全員参加で宿泊費は市が全額負担しているのであれば、受益者負担を持ち込むと任意参加でよいのではないかとになるので、その表現は工夫したほうが良い

- ・事務局

学校とも協議しながら進めていきたい

○小学校部活動の「クラブ化」について

- ・学校単位ではなく、地域のコミュニティ協議会みたいなどところと連携させて、受け皿を広くして受け入れてもらうよう考えながら進めていけばうまくいくのではないかと。
- ・指導者が子どもの卒業により不在となったり、異なる学校の児童もいるクラブに対する後援会からの金銭補助の課題もある。

- ・事務局

さまざまな情報を積極的に提供し、それぞれの環境に対応したクラブ化が進むよう支援していきたい。

○安全対策事業

- ・事務局

交通安全指導ボランティアを学校支援本部事業のボランティアとして登録することで、活動時の保険が自動的に適用される。無保険になるなど危険な状態にならないよう配慮していく。

○読書活動推進事業

- ・読み聞かせ講習会について、3日間出席というのはハードルが高いので、1日で終了する講習会を開催できないか。

- ・事務局

3日間でないともスキルも身に付かないという講師の判断もあり、難しい。